

会員団体の取り組み事例紹介

塩竈市の取り組み

塩竈市では、平成14年10月に「塩竈市環境基本計画」を策定しました。この計画では塩竈市の将来像を「海とともに生き、自らの手で築く、シーサイドエコシティ塩竈」と位置づけて、「共生」「循環」「参加」という三つの環境ビジョンを設け、その環境像実現のための目標を定め、各種施策の実践に取り組んでいます。

主な施策としては、次の3つがあります。

- (1) 市役所庁舎内の省エネルギーの目標を定め、環境に配慮した行動を市(職員)が率先して行ない、市民にエコ意識のアピールと普及を図る『塩竈市環境率先実行計画(しおがまエコ・オフィスプラン)』。
- (2) 蒲鉾生産日本一をフォローすべく、塩釜市団地水産加工業協同組合が揚げ蒲鉾の廃食用油を精製するバイオディーゼル燃料(BDF)としての事業化。その生産・販売・研究を支援する『塩竈市新エネルギービジョン』。
- (3) 『エコライフの推進とアピール』としてゴミの分別や3Rの取り組み等※(3)については、市の広報誌でシリーズ化して掲載しています。さらに小学生

や町内会を対象とした清掃工場やリサイクルセンターの施設見学会を随時(小中学校は年間行事化)行なっています。

その他に平成20年度から市内の小中学生を対象に『エコ野菜を知ってる会』を行なっています。これは環境に配慮した循環型の野菜栽培に取り組んでいる事例の見学をするものです。この会の中で見学している「有限会社八百照」は揚げ蒲鉾の原料となるカット野菜を製造し、その残渣から製造した堆肥を農家に提供。提供された農家は、その堆肥を使って有機野菜を栽培するというネットワーク作りに取り組んでいます。このような事例を見学し、堆肥によって育った野菜を実際に畑で収穫するという経験をするにより、次世代を担う子供達に食べ物の大切さや環境への取り組みを知ってもらいたいと考えています。



LED照明の現状と将来性

株式会社エヌ・エフ・ジー TEL 022-355-8611 <http://www.nfg.co.jp>

近年の省エネルギー化への取組みや環境対策から、注目されているのがLED照明です。照明器具としてのLEDは年々その性能を向上させており、価格面では従来の照明器具に肩を並べるに至っていませんが、LEDの特長を生かした採用が進められています。弊社ではハウスの水耕栽培用として光の波長特性を生かしたLED照明の開発とその事業化をしています。現在、販売している蛍光灯型LED照明(商品名LUCINA)は、弊社にて安全仕様確認と電気安全環境研究所でのJ55015(H20)の適用規格に適合したものであり、オフィスや食品工場の冷凍庫などに採用されています。また電球型や水銀灯に替わる街路灯(商品名Vega-Light)も各方面にて採用されており、環境対策に貢献出来る製品であり、将来的には全ての照明が太陽光発電との併用によるLED照明に置き換わるものと考えられます。



(街路灯用LED照明)

LEDとは、「発光ダイオード」半導体=“Light Emitting Diode”を略したもの

※LED照明のメリット

- ① LED照明の消費電力は一般照明の約1/2以下で明るさは従来照明より明るい
- ② 高所場所(看板・防犯灯・街路灯等)の取り換え作業には高額な費用がかかるが、LED照明は寿命が長く取り換え作業コストの大幅な削減が可能
- ③ LED光源は虫の好む400nm以下の波長がほとんど発生しないので、虫が集まりにくい

LUCINA基本仕様(蛍光灯型)

	20型	40型	110型		20型	40型	110型
寸法	580mm	1198mm	2367mm	適用温度	-20℃～+60℃	-20℃～+60℃	-20℃～+60℃
重量	240g	390g	1250g	発光色	5700K～6200K	5700K～6200K	5700K～6200K
入力電力	AC85V～240V対応	AC85V～240V対応	AC85V～240V対応	全光束	780lm	1800lm	7800lm
消費電力	10W	20W	60W	点灯色	白色	白色	白色
照度	70Lux	260Lux	250Lux	管材質	ポリカーボネート	ポリカーボネート	ポリカーボネート
点灯寿命	40000hr	40000hr	40000hr	口金	G13	G13	

※照度は20型・40型は直下1.5m、110型は直下3.0m

新規会員のご紹介

(株)アピコ、(財)宮城県スポーツ振興財団、リコー東北(株)、本山振興(株)、(株)栴田組、(株)リフレッシュかむろ、(株)片倉工務店

編集後記

みやぎグリーン購入ネットワークの事務局は、地道にセミナーを中心に啓発活動を行っています。セミナーの講師の方を選定するにあたっては、今旬の話題や知って得する内容をお持ちの方を招聘しています。大きなビジネスチャンスのヒントになる事例があります。また交流の場としての懇親会は、ビジネスマッチングや世の中の動向や背景を捉えるチャンスです。忙しいところを創意工夫して参加することで必ずや何かのヒントは得られます。まずは参加して聴いてください。セミナーに参加された方は皆さんが勉強になったと感想を述べておられます。

これからも会員の皆様とともに、持続可能な社会作りの一助となる活動が出来ますことを感謝し、ご協力ご支援のほどお願い申し上げます。

TEL:022-218-5451 FAX:022-375-7797
E-mail m-green@miyagigpn.net
URL <http://www.miyagigpn.net>



みやぎGPN

ニュース



2010.6

Vol. 7

今回の内容

- 代表幹事挨拶
- 平成21年度活動報告(活動・決算)
- 平成22年度事業計画、予算書
- 会員一覧
- 会員団体の取り組み
- 塩竈市、株式会社エヌ・エフ・ジー
- 新役員紹介
- 新規会員のご紹介
- 編集後記

エコ…エコノミー、エコロミー、エコロジー?

代表幹事 猪股 宏 (東北大学大学院工学研究科・教授)



「エコ」という言葉が氾濫しているように感じるこの頃です。エコ=環境と考える方が多いでしょう。でも「エコ」だけでは、次に何がづくか不明ですので定義できないのではないかと考えていました。つまり、エコ・ノミーかも知れないと思っていたわけです。辞書で調べると、“eco”～“ecology”となっていて、やはりエコ=環境と考えてよいようです。よく調べるとeco-logy, eco-activity, eco-policyなど、環境～、生態～ ということのようです。ではエコノミーとは調べると e-con-omyと標記するのが発音的にも妥当のようで、eco-nomyではないようです。でもEconomyも儉約・節約という意味もありますので、まんざらECO-と無関係でもないなと思ったりもしました。実は、日経NETIには「エコ」関係の分野として分類され、「日経エコロミー」として公開されていましたが、3月で閉鎖されています。これは、この関連分野の記事がなくなったわけではなく、むしろ「エコ」という言葉の方が広い範囲をカバーする言葉として浸透した結果であろうか…と思っています。

ところで、日経エコロジーの6月号を手に入れました。会員の皆様の多くの人もご覧になったと思います。その表題は「愛されるパナソニック」とあります。何の

ことだろうと表紙をめくると、エコ商品のランキングが掲載され、かなりの部門で、P社がトップに位置しているということでした。もちろんランキングをするわけ、人気だけではなく、技術データも加味してのものです。でも、我々日本人にとっては、このような情報が公開されると、“寄らば大樹の陰”ではありませんが、自分が評価したのではなく権威(他の人)が評価したものに寄ってしまう傾向がありますので、さらに1位のものが人気を博してしまいます。悪いことではありません。情報が正確なら、その方がエコロジー的にも貢献度が大きいなら結構なことです。むしろ、そのような傾向があればこそ、環境負荷の小さな優れた性能の商品があれば、そのエコ商品を積極的にPRし、普及が図れることになるわけです。とすれば、その評価が大事で、基準や判定などをきちんとすべきですね。この基準については、多面的ですので一概には決定できないでしょうから、多面的評価方法が大事になってくることでしょう。そのひとつが、もちろんグリーン購入で認定している種々の商品でもありますが、カーボンフットプリント(CFP)もそうでしょう。最近ではウォーターフットプリント(Water Foot Print)というも提唱されています。これからでしょうが、是非とも評価軸を明確にし、ユーザーの適切な判断基準になることを期待しております。

ここまで勝手に頭に浮かんだことを書きましたが、皆様には小職雑文の意図をご理解いただき、当ネットワークの活動への御協力をお願いする次第です。

みやぎGPN平成21年度活動報告書

■普及啓発事業

- (1) 会員が主催する環境イベントに出展し、グリーン購入の普及啓発、みやぎGPNのPR活動を行いました。

イベント名	開催日	会場
エコ・フェスタ2009(気仙沼市)	7月5日(日)	気仙沼市総合市民福祉センター「やすらぎ」
りふ環境まごどフェア2009	10月25日(日)	利府町民交流館・町民広場
石巻環境フェア2009	11月15日(日)	石巻市河北総合センター(ビックバン)



(2) 「みやぎGPN会員セミナー」(自主事業)

日時:平成21年6月19日(金) 13:30～15:30

会場:宮城県自治会館2F 200・201会議室 出席者:41名

①「オフィスに地域に環境にやさしい富士ゼロックス宮城の取り組み」

みやぎGPN幹事 富士ゼロックス宮城(株)取締役 大堀隆夫氏

——環境と複写機などは相反するのでは、と思われるが、環境なくして商売は語れない。複合機、用紙、トナー、紙を電子に置き換えるソフ

トウェアドキュワークス、エンジニアが訪問したときコピーのメンテナンスのみならず、パソコンの相談を受けるなど情報分野に進出し大きく様変わりしている。プリンターやスキャナーを汎用使っているお客様には出力機の統合を勧め快適な環境の提案をし、お客様にも喜ばれ自分達にも励みになる。お客様からのお褒めやお叱りなどの生の声を社内イントラに入力し、部門や職種を越えて分析し、会社経営に直接反映させている。

また、回収した製品の再資源化によりゼロエミッションを推進し、社有車のエコドライブや地域清掃活動などを通じてCO2排出量の削減につなげている。

発行・編集 みやぎグリーン購入ネットワーク事務局
〒981-3121宮城県仙台市泉区上谷刈三丁目10-6
(NPO法人環境会議所東北 内)

五橋地域の清掃活動や交流、給与の端数を社会に役立てる目的で、端数クラブを結成し、自然保護、恵まれな子どもや障害をもった人などに寄付するなど社会貢献をしている。

幹事会でグリーン購入ネットワークに入会しているメリットは何か、と議論になるが、プロモーションの部分が必要。入会したらメリットを求めるのではなく、社会貢献だと考え自分達でグリーン購入を推進して行かなければ成り立たない活動である。エコ情報を会員同士が双方向で交換し合えばどうだろう。会員同士がそのように自由自在に相互発信できるような仕組みになれば、ネットワークの活動も便利になるのではないか。――

②「わが社のe行動(eco do!)宣言による環境配慮実践事業者認定について」 宮城県環境政策課

(3) 講演・懇談会

日時:平成22年1月18日(月) 13:30～15:30

場所:河南桃生商工会館 2階会議室(石巻市前谷地字上樓屋13-1)

主催:河南桃生商工会 出席者:18名

○講演「環境に配慮した商店街づくり」

講師 みやぎグリーン購入ネットワーク事務局長 山岡講子

○懇談会「地域問題に関する懇談会」

石巻市河南桃生地域を取り巻く商業環境は、大規模小売店舗や大型専門店等の郊外進出が続き、商店の減少高齢化が進行しています。商店街づくりの支援及び地域貢献活動のより一層の展開が重要視されていることに鑑み、環境に配慮した事業への取り組みについて、行政地域住民、関係団体、商工業者と懇談し、商工会事業の効率的な実施、指導体制の強化拡充を図り、魅力ある商店街づくりのため懇談会が開催されました。はじめに「環境に配慮した商店街づくり」と題し、山岡講子事務局長が講演をしました。続く懇談会は、商工会役員や地域住民、行政による出席者で構成され、問題点や要望など活発な意見交換がされる中、町の活性化とビジネスにつながる明るい未来が見えたようです。

(4) 宮城県委託事業

①「製造業等のグリーン購入セミナー」

日時:平成21年7月16日(木)13:30～15:30

会場:エル・ソーラ仙台 大研修室(仙台市青葉区中央一丁目3-1 アエル28F)

主催:みやぎグリーン購入ネットワーク、宮城県 出席者: 30名

○講演 グリーン購入ネットワーク 次長 深津学治氏

「エコプロダクツの開発におけるカーボンフットプリントの果たす役割」

○座談会・質疑応答

製品の一生にかかるエネルギーをCO₂換算し、その製品の環境負荷を示すカーボンフットプリントについて、製造業者の理解と認識を深めることを目的に「製造業等のグリーン購入セミナー」を開催しました。国際的にはISO化の検討も進んでいるカーボンフットプリントは、エコプロダクツの開発やグリーン購入にどのように活用することが出来るのか、グリーン購入ネットワーク次長深津学治氏に最近の動向もふまえて講演をいただきました。

座談会・質疑応答では、多くの参加者から質問が寄せられたことから、今後の動向にますます関心が高いテーマであると思われました。

②「グリーン購入セミナーin宮城」

日時:平成21年11月4日(水)13:10～16:30

会場:エル・ソーラ仙台 大研修室(仙台市青葉区中央一丁目3-1 アエル28F)

主催:グリーン購入ネットワーク、みやぎグリーン購入ネットワーク、環境省、宮城県 出席者:49名

自治体や事業者がグリーン購入に対する理解と認識を深め、主体的な取り組みを進めるとともに、自治体間の情報の共有化を図ることを目的に「グリーン購入セミナーin宮城」を開催しました。

はじめに、深津学治グリーン購入ネットワーク次長は、自治体からの参加者には平成27年までに全

ての地方自治体で組織的取り組みをするために、GPNを活用してほしいと挨拶をいたしました。

基調講演 東京都市大学環境情報学部教授 中原秀樹氏 「グリーン購入で実現 低炭素社会」の要旨

――新型インフルエンザと地球温暖化・環境問題は同じである。2005年3月IPPCが気候の温暖化を指摘したが、1990年比で2020年までに温室効果ガスを25%削減するなど、呑気にしていられるのか。ゼロカーボン式、暮らし方、低炭素を可能にすることしか手段は残っていない。[森は海の恋人]と提唱したのは宮城県の畠山重篤氏ではなかったか。宮城県が低炭素化社会実現の声を上げなければどこが上げるのか。

1,000円投資した場合のCO₂削減効果を見ると、テレビ、エアコン、冷蔵庫、照明機器、自家用車では、照明機器が一番効果があることがわかった。照明機器を最新の電球に代替することにより、低価格で多くの二酸化炭素を削減することができる。消費者の社会的責任とは、消費行動が社会、環境に影響を与えることを認識することである。

ゼロカーボン社会を目指すには、まず、グリーン購入をして町中で手に入るビジネスを作る。エコカー減税とセットで実施すると相乗効果がある。設備投資が必要なら銀行が融資して、保険会社のように自社のCo₂排出量を削減し、取引会社にも呼びかけ地場産業を助けることである。

次の世代が働けない社会はおかしい。グリーン・ジョブ(固形廃棄物100万トンの処理で創出される仕事)を行なう場合の雇用創出のシミュレーションは、焼却に80人、埋め立てに600人、リサイクルに1,600人の労働が必要になる。ここに雇用が生まれる。環境と雇用は両立できる。生産システムに活かしていこう。使わなくなった携帯電話を差し出せば、レアメタルであるインジウムが回収でき蓄積される。携帯電話を回収して、都市鉱山開発公社とか設立できるのである。今日着ているスーツは、ペットボトル56本分、ネクタイは8本分です。ゴミにしていたもので新しいビジネスが生まれる。採算性が割に合う時代である。キャップを取り、ラベルを剥がし、手間隙かけるところに雇用が生まれる。グリーン購入で低炭素社会は実現できる。――



【取り組み事例紹介】

○宮城県 環境生活部環境政策課長 後藤康宏氏 「宮城県におけるグリーン購入の取り組み」

○石巻市 生活環境部環境対策課長 梶原敏彦氏 「石巻市におけるグリーン購入への取り組み」

○リコー東北株式会社 マーケティング本部NB営業部コンサルG 国分千春氏 「リコー東北株式会社 ごみゼロ活動への取り組み ～広げよう環境の環(わ)～」

○仙台市 環境局環境部環境都市推進課長 小林弘美氏 「グリーン購入～市民に身近に」

○グリーン購入ネットワーク事務局次長 深津学治氏 「グリーン購入の動向とGPN」

○みやぎグリーン購入ネットワーク事務局長 山岡講子 「みやぎグリーン購入ネットワークの活動報告」

③「グリーン購入セミナーin石巻」

日時:平成22年1月30日(土)13:30～15:30

会場:石巻文化センター 第4研修室(石巻市南浜町一丁目7-30)

主催:みやぎグリーン購入ネットワーク、石巻市、宮城県 出席者:34名

○講演 イオンリテール株式会社東北カンパニー 総務部広報・環境社会貢献マネジャー 鈴木茂伸氏

「イオングループ カーボンフットプリントの取り組み」

○講演 ACT53仙台 佐藤郁子氏 「環境に配慮した買物ごっこ」

県民、事業者が条例やグリーン購入に対する理解と認識を深めることを目的に、石巻地域における普及活動として、主に石巻市環境保全リーダーや一般の方を対象に「グリーン購入セミナーin石巻」を開催しました。イオングループにおけるカーボンフットプリントの先進的な取り組みについて講演を行い、カーボンフットプリントはCO₂排出量の見える化であることの認識を深めていただきました。続く「環境に配慮した買物ごっこ」では、カーボンフットプリントが世の中に普及するまでの間、生活用品に関しどんなことに気をつけて購入すればよいかを講演していただきました。

「イオングループ カーボンフットプリントの取り組み」の要旨

――カーボンフットプリントの前に、日本製であるとか、宮城県産であるとか、石巻産であるかが最初に選ぶ基準になるかもしれないが、2020年までにCO₂を減らしていかなければならないので、このカーボンフットプリントは大事である。

カロリー計算と同じで、成人男性は年代別に1日何カロリーぐらいで、カロリーをオーバーすると肥満や成人病の原因になるという指数があります。カーボンフットプリントでは、「CO₂は何kgまでしか出せないんだよね。今日はこれくらい買って、これくらいのCo₂を出しているから、明日はCO₂を出さない生活をしようね」という会話にまでなるかと思う。そういう時代になり、温暖化をセーブしながら生活していかないといけない。子ども達にこの地球を渡すため、この取り組みを皆様が中心となりカーボンフットプリントを普及させるようによろしく願います。――

④環境配慮型製品の県内小売店における販売状況調査業務

環境配慮型製品の販売状況や、小売業者のグリーン購入に対する意識の実態を把握し、宮城県内のグリーン購入の普及促進に関する課題を検証することを目的として、宮城県内の小売店200店舗の内、文具店90・スーパー44・日用雑貨店32・ホームセンター34を対象に平成21年7月10日～7月末まで調査しました。

品質については、環境配慮型製品が他製品より「悪い」と回答する事業所は、ありません。すべての製品で、「よい」「変わらない」とおおむね肯定的な評価を受けています。今後の環境配慮型製品の取扱予定では、大半の企業は「強化する」と回答しています。

グリーン購入の取扱を一層推進するために、どのような施策や仕組みがあったら良いと思うかの問いについて、グリーン購入を実施した際の割高な商品価格に対する補助金のようなものがあるとより普及促進されるのではないかと、との意見がありました。チェーン店舗に関しては、本部に決定権があるため環境配慮型商品を導入できないという意見がありました。一方で、本部が推進している、これから推進させていく、というものもありました。メーカー・製造元に関しては、環境配慮型商品の価格を下げたり、流通を増やしたりすべき、という意見でした。 ※ホームページに報告書掲載中

役員会の開催状況

(1) 幹事会

第1回 平成21年5月20日(水)

第2回 平成22年3月26日(金)



(2) 企画運営部会

第1回 平成21年5月15日(金)

第2回 平成22年3月12日(金)



クリスマスパーティ開催

平成21年12月11日(金)中国飯店東龍門において、みやぎGPN会員、環境会議所東北会員、みちのくEMS関係者の合同によるクリスマスパーティを開催しました。参加団体の自己紹介、ゲームありで和やかに交流が図られました。参加者は49名でした。



平成21年度事業報告

会員一覧

平成21年度収支決算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位:円)

科 目		20年度 決算額	21年度 決算額	対決算 差額	摘 要
Ⅰ 収入の部					
1 会費収入		1,822,400	1,792,400	△30,000	A会員137件152口 1,502,000(内未収入金4万) B会員44件49口 290,400 計181件
2 事業収入		1,825,000	1,122,480	△702,520	
内 訳	受託収入	1,785,000	1,050,000	△735,000	宮城県より
	事業収入	40,000	72,480	32,480	HPのパナー広告4件、河南桃生商工会講演
3 補助金等		0	0	0	
4 雑収入		83,171	86,990	3,819	GPNよりチラシ配布手数料16,800 GPNアンケート調査 70,000 利息190
当期収入合計(A)		3,730,571	3,001,870	△728,701	
前期繰越収支差額		22,642	57,580	34,938	平成20年度繰越金
収入合計(B)		3,753,213	3,059,450	△693,763	
Ⅱ 支出の部					
1 事業費					
普及啓発事業		112,289	8,662	△103,627	啓発事業消耗品等
ホームページ運用管理		126,000	126,000	0	ホームページ更新手数料
会報発行		45,150	45,150	0	会報 350部
受託事業		1,785,000	1,050,000	△735,000	会場費、講師謝金、旅費、チラシ、 アンケート調査費、人件費等
GPN参加費		441,600	441,600	0	A会員団体分 1,472,000×30%
事業費支出合計		2,510,039	1,671,412	△ 838,627	
2 管理費					
給料手当		680,000	815,000	135,000	事務局人件費(月13万×6ヶ月) アルバイト(取材、普及啓発)5,000×7人
旅費交通費		39,130	41,655	2,525	交通費
通信運搬費		233,084	167,632	△ 65,452	電話、郵便料、振込手数料、 GPNニュースレター年5回発送
消耗品費		55,221	58,215	2,994	事務用品、角2・長3封筒作成
賃借料		149,190	149,190	0	
内 訳	事務所賃借料	120,000	120,000	0	月1万×12ヶ月 環境会議所東北
	Webホスティング料	29,190	29,190	0	GMOホスティング
租税公課		400	400	0	受託契約印紙代
貸倒損失		0	0	0	
雑費		28,569	25,989	△ 2,580	GPN、地域ネット懇親会等
管理費支出合計		1,185,594	1,258,081	72,487	
当期支出合計(C)		3,695,633	2,929,493	△ 766,140	
当期収支差額(A)-(C)		34,938	72,377	37,439	
次期繰越収支差額(B)-(C)		57,580	129,957	72,377	

【企業】 ㈱アイクグリーン仙台センター、アイリスオーヤマ㈱、㈱赤井沢、旭興産㈱、㈱アドタイムズ、アットサイト・ジャパン㈱、㈱アピコ、阿部建設㈱、㈱安部工業、飯塚農園、石巻信用金庫、石巻合板工業㈱、泉砕石工業㈱、㈱イトイン、イーモobil(株)、(有)エアコンセンター、㈱エコライフサポート、㈱エスコム、㈱エヌ・エフ・ジー、円達企業㈱、㈱オイルプラントナトリ、㈱菓匠三全、㈱片倉工務店、㈱河北新報社、河北新報印刷㈱、協工業㈱、㈱キクチ、㈱北日本ウエスタン商事、北日本環境整備㈱、旭洋紙パルプ㈱仙台支店、㈱金陽社仙台営業所、㈱国本、㈱倉元製作所、栗村建設興業㈱、㈱公害処理センター、弘進バンダグ㈱、㈱高速、国際紙パルプ商事㈱仙台支店、㈱孔栄社、コクヨ東北販売㈱、㈱後藤総合税経、コニカミノルタグラフィックイメージング㈱、小林クリエイト㈱東北支店、㈱光文堂東北支店、㈱サイコー、㈱斎藤工務店、桜物産㈱、笹氣出版印刷㈱、佐々良建設㈱、㈱佐々木印刷所、㈱佐彦、佐藤商店、(有)サトウシーピー、㈱塩屋、重吉興業㈱、㈱七星社、㈱白木屋、新生紙パルプ商事㈱仙台支店、㈱七十七銀行、鈴木工業㈱、㈱スーパーライン東北、セイホク㈱石巻工場、㈱セキュリティソリューション、㈱関紙店、セコム工業㈱、㈱仙台ニコン、㈱セント、仙台トーホー事務機㈱、仙台新聞印刷㈱、仙台環境開発㈱、ソニー㈱仙台テクノロジーセンター、㈱ソノベ、㈱ゾウケイ社、㈱高橋建設、㈱高橋榮司自動車、㈱テスラ、㈱テクノ菱和東北支店、電通システム㈱、㈱テレコムリサーチ、DICグラフィックス㈱、ディライツマネジメントコンサルティングオフィス、㈱東北イノアック、東北インフォメーション・システムズ㈱、東北セキスイハイム工業㈱、(有)東北図面工業社、東北電力㈱、東北リコー㈱、東北緑化環境保全㈱、東北マツクラ㈱、東邦運輸倉庫㈱、㈱トーフク、東洋インキ東北㈱、㈱東和商会、常盤洋紙㈱、トヨタ自動車東北㈱、有限責任事業組合DODO資源研究所、中村印刷㈱、ニッカウエスキ㈱仙台工場、ニシマキ・オフィスシステム㈱、日本紙パルプ商事㈱東北支社、日本たばこ産業㈱仙台支店、㈱日本眼科医療センター、㈱ハイウエイとうほく、㈱ハイクレー東北営業所、パイオニアシステムテクノロジー㈱、㈱羽根川設備工事、日の丸化成樹脂工業㈱、㈱ビルワーク、㈱深松組、富士ゼロックス宮城㈱、㈱藤崎、㈱富士防災、㈱プレスアート、富士フィルムグラフィックシステムズ㈱、平和紙業㈱仙台支店、㈱ベガルタ仙台、前田建設工業㈱東北支店、松本事務機㈱、(有)マサミコーポレーション、㈱樹田組、(有)マネジメント・インターゼットテクノ、㈱三森コーポレーション、㈱宮城読売インフォメーションサービス、㈱MIDC、みつづか総合保険企画、妙法産業㈱、㈱ミヤックス、明興防水㈱、本山振興㈱、(有)八百照、㈱ユーメディア、㈱吉岡、リステージ㈱、リコー東北㈱、㈱リフレッシュかむろ、渡部紙業㈱

【団体】 ACT53仙台、石巻商工信用組合、(特非)環境会議所東北、協業組合仙南環境公社、協業組合仙台清掃公社、公園都市構想研究会、(社)仙台建設業協会、仙台商工会議所、仙台文具事務用品組合、大学生活協同組合東北事業連合、東北大学生活協同組合、東北事務機協会、農事組合法人しげよしファーム、富士通東北システムズ労働組合、宮城県印刷工業組合、(財)宮城県環境事業公社、(社)宮城県建設業協会、宮城県商工会連合会、宮城県中小企業団体中央会、みやぎ生活協同組合、(財)宮城県公衆衛生協会、(財)宮城県スポーツ振興財団

【行政】 宮城県、石巻市、岩沼市、大崎市、大郷町、角田市、栗原市、気仙沼市、塩竈市、七ヶ宿町、白石市、仙台市、大和町、多賀城市、登米市、東松島市、丸森町、美里町、利府町

(平成22年5月末日現在 企業136 団体22 行政19 合計177)

平成22年度事業計画

平成22年度
みやぎGPN事業計画

■普及啓発事業

○会員向け出前セミナーの開催

宮城県で実施している出前講座を参考に、会員を対象とした出前セミナーを開催する。グリーン購入に関する話題や動きなどの情報提供や、会員の事例発表、意見交換の場とする。

「環境経営セミナー&交流会」

～グリーン購入の取り組み事例や会社経営に役立つ情報のご紹介～

日時:平成22年6月23日(水) 15:00～17:00 交流会17:00～19:00

場所:パレス宮城野 けやきの間

(仙台市青葉区上杉3丁目3番1号 電話022-265-2223)

主催:みやぎグリーン購入ネットワーク(みやぎGPN)

みちのく環境管理規格認証機構(みちのくEMS)

共催:宮城県 後援:仙台市

対象者:みやぎGPN会員、みちのくEMS認証取得企業・構築取組企業等

定員:70名 参加費:セミナー/無料、交流会/会費制5,000円

〈セミナー内容〉

①「企業の収益向上につながる環境経営の手法と魅力」

東北大学大学院 生命科学研究科 特任教授 竹本徳子氏

②「モチベーションの高め方」

株式会社サクセス・アンリミテッド仙台

チーフモチベーター 倉林大作氏

③事例紹介 株式会社吉岡 専務取締役 初谷博氏

④ 同 株式会社佐彦 代表取締役 松坂直志氏

○市町村イベントへの出展によるグリーン購入の普及啓発

各市町村で開催される環境フェア等の地域イベントの際に、パネルの展示、環境配慮型製品(会員企業から商品の提供を受ける)の展示、PRちらし、「グリーン購入ガイドブック宮城県北エコな旅」冊子の配布などを行いグリーン購入の普及啓発及びみやぎGPNの周知を行う。

○受託事業

宮城県内全域で、県民や事業者等を対象に、年数回グリーン購入セミナーを開催する。講師には、グリーン購入の基礎知識等豊富な知識を有しているGPN関係者や有識者を招き、業種ごと等のセミナー及び先進的な取り組みを行っている会員の事例発表、意見交換会等を開催する。会員拡大にも繋げる。

1. 地産地消で始めるグリーン購入

日程:10月14日(木)～17日(土)

会場:夢メッセみやぎ

内容:「エコプロダクツ東北2010」に出展し、宮城の食材の紹介や地産地消の普及啓発を図る

2. エコなお買物キャンペーン

12月実施

3. エコホテル・旅館フォーラム

2月頃実施

■情報発信事業

○ホームページの情報提供

ホームページによる会員情報、対談、グリーン購入に関する取り組みなどの情報発信を行う。見やすく興味深い内容にするため、月2回程度ホームページの更新、改良を重ねていく。

○会報の発行(年1回発行)

ネットワークの活動について広く周知するため、会報の発行を行う。会報の発行は年1回とする。

○メールマガジンの発行(月1回程度)

企業や行政からのイベント情報、セミナーの案内、新製品の情報など、速報性の高い情報提供をするため、月1回程度を基本としてメールマガジンの発行を行う。

平成22年度収支予算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目		21年度 予算額	22年度 予算額	対前年予算 差額	摘 要
Ⅰ 収入の部					
1	会費収入	2,074,400	1,938,400	△136,000	A会員132件 146口 1,442,000 B会員 45件 50口 296,400 計177件 4月以降新規A会員20件 200,000 A会員合計 1,642,000 合計197件
2	事業収入	1,100,000	1,100,000	0	
内 訳	受託収入	1,050,000	1,050,000	0	宮城県より
	事業収入	50,000	50,000	0	HPのバナー広告 5件
3	補助金等	0	0	0	
4	雑収入	30,000	20,000	△ 10,000	GPNよりチラシ配布手数料
当期収入合計(A)		3,204,400	3,058,400	△ 146,000	
前期繰越収支差額		57,580	129,957	72,377	平成21年度繰越金
収入合計(B)		3,261,980	3,188,357	△ 73,623	
Ⅱ 支出の部					
1 事業費					
普及啓発事業		55,000	30,000	△25,000	啓発事業
ホームページ運用管理		126,000	126,000	0	ホームページ更新手数料
会報発行		45,150	45,150	0	会報350部
受託事業		1,050,000	1,050,000	0	講師謝金、旅費、チラシ、印刷費、人件費等
GPN参加費		531,600	492,600	△39,000	A会員団体分 1,642,000×30%
事業費支出合計		1,807,750	1,743,750	△64,000	
2 管理費					
給料手当		950,000	950,000	0	事務局人件費 月13万×7ヶ月=910,000 アルバイト40,000
旅費交通費		45,000	45,000	0	交通費
通信運搬費		230,000	180,000	△ 50,000	電話、郵便料、振込手数料、 GPNニュースレター年6回発送
消耗品費		55,000	50,000	△ 5,000	事務用品
賃借料		149,190	149,190	0	
内 訳	事務所賃借料	120,000	120,000	0	月1万×12ヶ月 環境会議所東北
	Webホスティング料	29,190	29,190	0	GMOホスティング
租税公課		400	400	0	受託契約印紙代
貸倒損失		0	30,000	30,000	21年度会費未納3件
雑費		24,640	40,017	15,377	セミナー開催、GPN懇親会等
管理費支出合計		1,454,230	1,444,607	△ 9,623	
当期支出合計(C)		3,261,980	3,188,357	△ 73,623	
当期収支差額(A)-(C)		△ 57,580	△ 129,957	△ 72,377	
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	0	0	